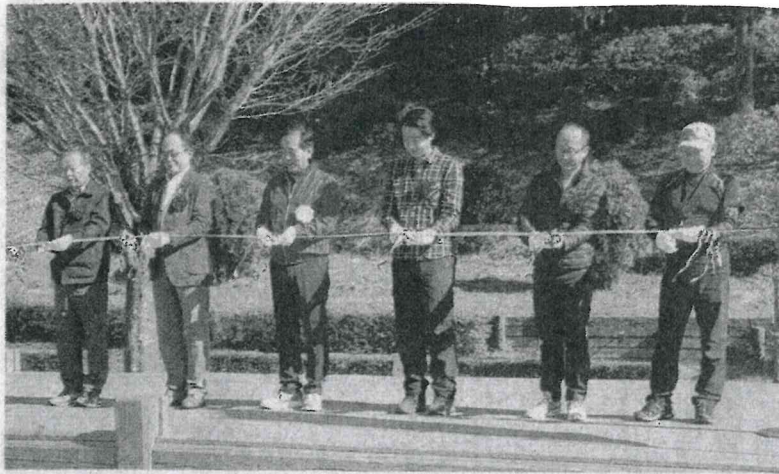


「クアの道」に認定
11/15式典とウォーキングで祝う
延岡市



テープカットして「クアの道」認定を祝う関係者

クアオルト健康ウォーキングの「クアの道」に延岡市の須美江（須美江町、金堂ヶ池（西階町）の2コースが認定を受けた。11日、須美江コースのスタート地点となる「ビーチの森すみえ」で認定式典と記念ウォーキングがあり、関係者や市民ら約70人が参加して祝った。

傾斜や変化、安全対策などを備えたクアオルト健康ウォーキングの専用コースをいう。須美江コースは全長2・53キロ、金堂ヶ池は同1・79キロ。九州内の認定は大分県由布市に次いで2番目。自然の野山を歩いて治療する気候性地形療法を取り入れ、心拍数脈拍を測定しながら、個人の体力に合った運動リスクの少ないウォーキングを行うのが特徴。

延岡市は昨年、これまでの健康長寿の取り組みが評価され、「太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワード2017」優秀賞を受賞。日本クアオルト研究所が学術的な同療法のコース調査を行い、2コースを「クアの道」として標識や看板などを整備していた。

式典では、同ウォーキングをサポートする太陽生命保険の中村泰之次大分支社長が、山本一丸副市長に認定証を授与。続いて、同研究所の小関信行所長から、実践指導員に認められた永野晃助さんと甲斐宏明さん、堀川叙奈さん、普及員を代表して中村正さんに認定証を渡した。

山本副市長は「認定は健康長寿のまちづくりを進める上で大きく、地域活性化と交流人口の拡大も期待できる」と、太陽生命保険の須藤頼宮崎支社長が「クアの道を活用し、延岡市がいつまでも元氣なまちとして発展してほしい」とあいさつ。テープカットを行って認定を祝福した。

記念ウォーキングでは、心地よい日差しと風を感じながら、山と海が一体となった自然豊かなコースを堪能。参加者は実践指導員のアドバイスを受けながら、設定ポイントで脈拍を測って自分に合った運動負荷を確認したり、見晴らしの良い場所では大声で「ヤッホー」と叫んで気分をスッキリさせながらゴールしていた。